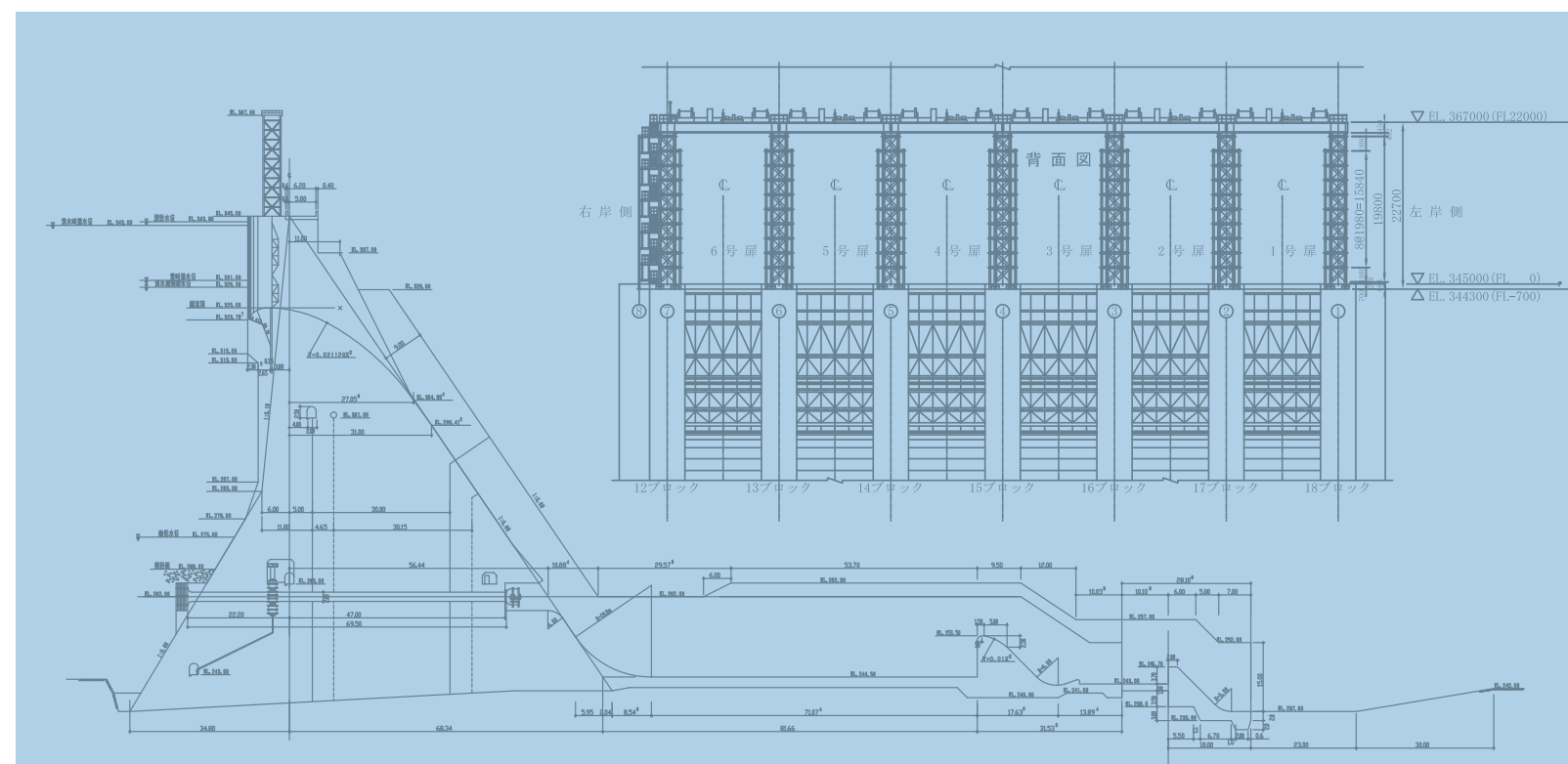


独立行政法人 水資源機構
池田総合管理所 早明浦ダム再生事業推進室
〒781-3401 高知県土佐郡土佐町土居593番地 TEL 0887-72-9750



さ め う ら 早明浦ダム再生事業



2024. 8月

ダム再生事業の概要

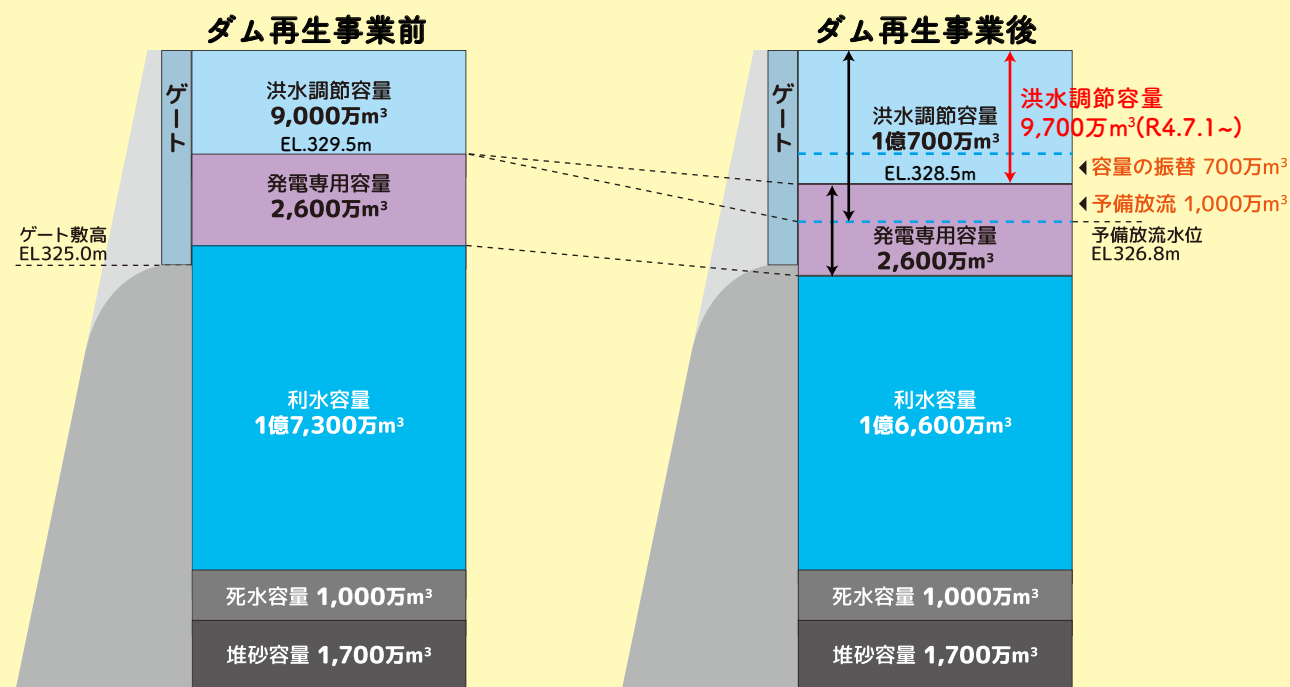


- 目的** 洪水調節
- 総事業費** 約500億円
- 工期** 2018年度から2028年度までの11年間の予定

2018年4月 早明浦ダム 再生事業 START!!

早明浦ダム再生事業の内容

- 容量の振替** ダムからの補給方法を変更して、利水容量の700万 m^3 を洪水調節容量に振り替えます。
令和4年7月1日から実施しています。
- 予備放流の導入** 大雨が降りそうとき、予め水を放流して水位を下げ、洪水に備えます。
- 放流設備の増設** 容量の振替と予備放流を行うことで、ダムの水位が下がり、今のゲートでは適切な量の放流ができなくなるため、放流設備を増設します。



ダム再生事業の沿革

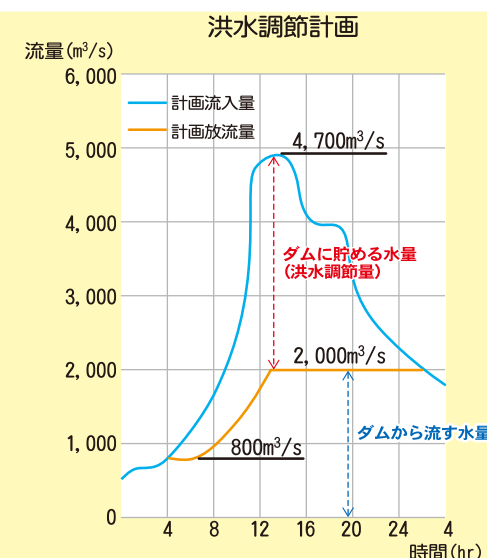
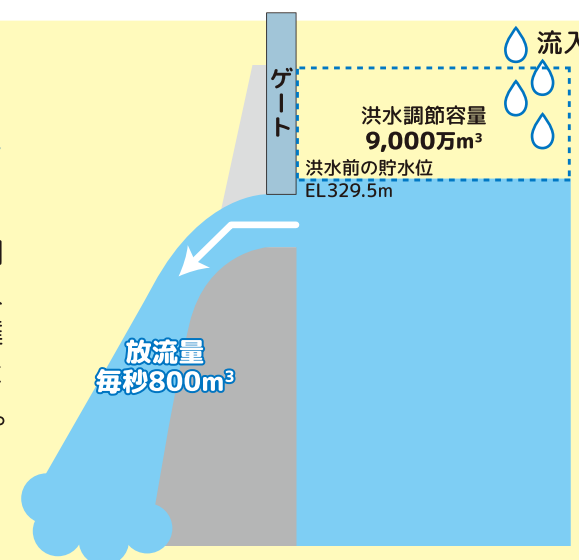
1965年度	早明浦ダム建設事業に着手
1975年度	早明浦ダム管理開始
2005年度	吉野川水系河川整備基本方針 策定
2009年度	吉野川水系河川整備計画 策定
2017年度	吉野川水系河川整備計画 変更
	吉野川水系における水資源開発基本計画(一部変更)
	早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画認可
2018年度	早明浦ダム再生事業着手
2024年度	早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画(第1回変更)認可

早明浦ダム諸元

堤 高	106.0m
堤 頂 長	400m
総貯水容量	3億1,600万 m^3
流域面積	472 km^2
目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持 新規用水の供給 水力発電
管理開始	1975年4月1日

洪水調節計画は 変わりません

早明浦ダムは、洪水調節計画に基づき、流入量が毎秒800 m^3 に達するまでは、流入量と同じ流量を放流します。



ダム堤体の規模を変えず 洪水調節容量を増大します

利水容量の一部を洪水調節容量に振り替え、さらに予備放流を行うと、洪水前の貯水位を現在よりも下げることができます。ただし、貯水位が下がると、ゲートからの放流能力が足りなくなってしまう。

このままでは、洪水前に洪水調節容量に水が貯まってしまいます。



適切な放流能力を確保するために、

現在のゲートよりも低い場所に放流設備を増設します。これにより、適切な量の放流をすることができます。

